

連節バス、鮮やか黄色デザイン 京都・精華 [印刷用画面を開く](#)

京都府精華町は、関西文化学術研究都市「精華・西木津地区」（精華町・木津川市）で来年春から運行する府内初の連節バスの愛称とデザインを発表した。

愛称は「YELLOW LINER（イエローライナー）華連（かれん）」。町の公募に寄せられた117件から松本操さん（同町桜が丘）の「YELLOW LINER」と、武内千賀子さん（同町光台）の「いはいはんな華連バス」を合わせた。



デザインが決まった連節バス（奈良交通提供）

丘陵の緑に映える鮮やかな黄色の車体を表現、精華町から華、連接から連を取り、華やかで愛され続けるようにと願いを込めた。

デザインは、視認性を上げて事故を未然に防ぐことも目的に、明るい黄色を基調に学研都市の丘陵を駆け上がるシカをあしらった。

連節バスは、JR祝園駅・近鉄新祝園駅西口ロータリーと精華・西木津地区を結び、奈良交通が運行する。11月19日に同町光台である「せいか祭り」でお披露目される。

京都新聞（Web版）平成29年10月8日



せいか祭り2017（11/19）での表彰式後の様子